

極寒の中リンクを手作りで！ 上サ・スケート場開設準備

12月18日(日)、県内唯一の天然スケートリンクとなる上サ・スケート場（大字西平）のオープン準備が行われました。手づくりのスケートリンクは、毎年この時期にスポーツ協会スケート部を中心に、スポーツ推進委員、スポーツ協力員、地元消防団、学校関係者などが協力して設営されます。早朝から角材や水を貯めるための巨大ビニールシート（横57m、縦27m）を広げるなどの準備を行い、最後に消防団による水入れが行われて天然のリンクが完成しました。その後12月30日(金)にオープンし、現在はスケートを楽しむお客さんと賑わっています。上サ・スケート場は2月上旬まで開設予定です。



手づくりのスケートリンクの開設準備をする様子。巨大なビニールを総出で引っ張る様子は壮観。

写真説明

ときがわ町が 県内のイベントに出展！

11月19日(土)、20日(日)の2日間、ときがわ町が嵐山溪谷バーベキュー場（嵐山町）で行われた「嵐山溪谷紅葉まつり」に出展しました。このイベントでは会場を流れる槻川の上流部に所在する小倉城跡のPRのため、御城印の販売や、ガイドウォークの随行を行い好評をいただきました。

また、12月3日(土)には深谷テラスパーク（深谷市）で行われた「嵐山重忠公ゆかりの地大集合！」に出展しました。ときがわ町は重忠公とゆかりのある自治体として、嵐山一族が慈光寺と深い関わりがあったことから参加したもので、物産販売や萩日吉神社のやぶさめの映像紹介などを行いました。



県内のイベントに出展する様子。

写真説明

山火事の予防を呼びかけ！ 女性消防団員も活躍

12月11日(日)、火災が発生しやすい時季を迎えるに当たり、ときがわ消防団が中心となり、火災予防啓発のため、大字大野地区、大字柵平地区を戸別訪問し、火災発生防止の注意喚起を実施しました。地元の方たちは、団員との会話を通して、「山火事が発生することが怖いので、火災にならないように気をつけたい」とお話ししてくれました。地域住民と、消防団、消防署、役場が一体となって山火事予防、火災予防をしていくことの重要性を再認識した啓発運動でした。



山火事の予防を呼びかける、女性消防団員。

写真説明

小学生が自ら防災無線で 呼びかけ！「見守りのお願い」

児童が下校する時間に流れる見守り放送は、日頃から見守り活動をしていただいている地域の皆さまに感謝の意を込めて、小学生自身の声で放送しています。今回は、萩ヶ丘小学校の児童に録音をしていただきました。録音した芝田実央さん（6年生）は、「毎日放送を聞いているので内容はわかっていたのですが、思ったよりも緊張しました。この放送が流れるのが楽しみです」との感想をくれました。芝田さんによる放送は、2月28日(火)まで放送されます。



今回録音した萩ヶ丘小学校の芝田さん。

写真説明